

平成 29 年度シラバス (海洋生物)

学番 7.8 新潟県立海洋高等学校

教科 (科目)	水産 (海洋生物)	単位数	2 単位	学年 (コース)	2 学年 (資源育成コース)
使用教科書	海洋生物 (実教出版)				
副教材等	なし				

1. 学習目標

水産・海洋に関する基礎的な知識を習得させ、水産業に活用する能力と態度を育てる。

2. 指導の重点

海洋生物に対する理解を深めるために、
 ①主要魚類の生理・生態について理解を深めることを目指します。
 ②実験や観察を通じて、科学的な態度を身に付けることを目指します。
 ③海藻や貝類の繁殖形態や体の仕組みについて理解を深めることを目指します。

3. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	海洋と生活	海洋の知識	○海洋の区分及び海洋生物の生息環境について理解する。 ○陸水の区分及び淡水生物の生息環境について理解する。	3	授業の取組 ・態度 定期考査 ノート
5	1 学期中間考査		○海水及び陸水の物理・化学的性質について理解する。	3	
6	1 学期期末考査	生態系	○生態系の構成要素、食物連鎖と栄養段階、生物群集、生活様式について理解する。	7	
7		生物の種類と分類	○生物の分類法及び水産動物・藻類の系統樹について理解する。	7	
9	プランクトン	植物プランクトン	○光合成、有光層、水温、栄養元素、基礎生産について理解する。 ○植物プランクトンの種類及び生態について理解する。	7	
10	2 学期中間考査			6	
11	2 学期期末考査	動物プランクトン	○動物プランクトンの役割及び利用について理解する。 ○動物プランクトンの種類及び生態について理解する。	6	
12				6	
1	3 学期学年末考査	プランクトンの生態	○プランクトンの季節的変化について理解する。	8	
2			○プランクトンの垂直分布及び垂直移動について理解する。	8	
3					

計 64 時間 (55 分授業)

4. 課題・提出物等

定期考査終了後にノートを提出する。

5. 評価の規準と評価方法

評価は次の 4 観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
水圏の生態系とプランクトンについて関心を持ち、意欲的に授業に参加して、内容を理解しようとしている。	基礎的な実験や観察を通して、海洋生物の分類、形態、生態について発展的に考えようとしている。	実験や観察の技法を身に付け、実験・観察を基に水産生物の分類、形態、生態についての特徴を正確に表現することができる。	水圏の環境・生態系、植物プランクトン及び動物プランクトンの種類と役割について理解している。

以上の観点を踏まえ
 ○授業への取り組み状況 (授業態度、学習への参加状況等)
 ○ノート等の提出物
 ○定期考査
 などから、総合的に判断します。

6. 担当者からの一言

海洋生物を理解するために必要な基本的知識を、わかりやすく、能率よく、親しみやすく学ぶことができる。また、海洋生物について学ぶ楽しさを実感してほしい。
(担当：貝田雅志)